

7月1日(金)
31日(日)は

社会を明るくする運動強調月間です

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

問合せ 福祉課保護係

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。昭和26年に始まり、今年で66回目を迎えます。

■更生保護の担い手とは【保護司】

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取組んでいます。

【更生保護女性会】

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のため子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

■地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

テレビや新聞では、毎日のように事件や犯罪のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすために、取締りを強化して罪を犯した人を処罰することは必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることもまた、とても大切なことです。

立ち直りを支える家庭や地域をつくるためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちがそれぞれの立場で関わっていく必要があります。社会を明るくする運動では、犯罪や非行のない地域をつくるために1人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

活動について 梶川博司(保護司)

この運動は全国的に毎年7月に行われ、犯罪のない地域社会を築こうと、今年で66回目を迎えます。

私たち碧南保護区保護司会碧南支部では、7月2日(土)に更生保護女性会と共同で、中学校のボランティアの生徒と共にハンドタオルやリーフレット、花の苗を配り、市内8か所の大型店舗出入り口で街頭啓発活動を行います。ハンドタオルにはこの運動の趣旨に賛同していただいた企業・団体・個人の協力で作成し、なかには市内中学生から募集された社会を明るくする運動標語の優秀作品が印刷物として入っています。手にした人は是非読んでください。地域や学校、家庭が一体となり、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築いていきましょう。

社会を明るくする運動標語作品入賞

最優秀賞

おこづかい 心も一緒に 募金箱

優秀賞

ツイッター 個人情報 つぶやくな

ありがとう 言葉のリボン 結んでく

入選

ストップドラッグ 薬に逃げず 現実を見て
足の下 点字ブロック ふまないで

スマホにね 子守りさせないでね お母さん
何気ない あなたの言葉に ズキンズキン

揺れる電車 勇気を出して 「ここどうぞ」
世界のコップ ありがとうで いっぱいに

おいおいおい ながらスマホは 危険だよ
分かってよ いじめられる 胸の痛さ

スマホより 繋がりたいのは 心だよ
俺らはね 父の背中 見て育つ

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

言われても 言ってもうれしい ありがとう

万引きは みんなにバレてる 見られてる
誰にでも 小さな優しさ きつとある

スマホより 直接言おう メッセージ
あいさつで 明るく強い 地域の輪

碧南市更生保護女性会長賞

いじめより 絆でつくる 人の輪を

スマホより 家族との会話を 大切に
手をつなぎ 心もつなぐ 家族の和

いじめつ子と 見て見ぬふりは 同罪だ
お父さん、お母さん 少しでいいから 抱きしめて

加藤 大志 (敬称略)
(南中 1年)

柘植 陽太 (中央中3年)
長坂 利菜 (東中 1年)

浅岡 陽佳 (新川中3年)
鈴木 皓陽 (新川中1年)

村松 花梨 (中央中3年)
末永 彩華 (中央中2年)

石川 愛莉 (南中 3年)
中村 昇太 (南中 1年)

角谷ひまわり (南中2年)
梅田 花恋 (東中 1年)

小林 龍生 (西端中3年)
前田 雄仁 (西端中3年)

高橋真里奈 (新川中2年)
榊原 征 (中央中1年)

平松 優奈 (南中 1年)
鈴木 遥 (東中 1年)

長崎 有紗 (西端中2年)

松本 滯 (新川中1年)

浅井 美咲 (中央中2年)
浅野 汐里 (南中 1年)

小澤秀太郎 (東中 2年)
柴田 栞汐 (西端中1年)